



駆け抜けた一年＋スクリーンの感動

学年振り返り＆人権映画感想号 第7号

22. Mar. 2013

2月28日に3年生が卒業していきました。67回生も高2の教科書購入、個人写真撮影を済ませ、いよいよ学年末を迎えました。そこで入学以来、授業を担当していただいた先生方に「67回生と歩んだ1年（入学～学年末）を振り返って」のテーマで原稿を寄せていただきました。さらに、2学期末の人権学習映画の感想の中から選んで掲載します。（順不同）

健康は大切です

保健〈3・7組〉T. N.

3組 上級生の弟、妹や陸上部員が多く在籍していた事が原因なのかあまり緊張感なく1年が過ぎました。しかし、3学期の少ない時間で取り組んだ保健発表は想像していたより良い出来でした。

7組 火曜日の6時間目、7時間目は英語というモチベーションが低くなる時間の実施でした。一部全く聴く気のない人もおり3組に比べて反応も今ひとつ、忙しい毎日の中で仕方ないかと思っていました。

もう忘れているでしょうが最初の授業でこのように言いました。「保健の授業は受験には関係ないように思われがちですが小論文の題材になることが多く、自分や家族の健康を守って行く上で必要な知識の宝庫です。」と。2年生では生命について考える機会もあると思います。真面目なテーマに対し真剣に向かいあってみてください。

先生方からのメッセージ

何とかなるさ、大丈夫！

現代社会〈4組〉M. K.

1年間、授業だけの付き合いでしたが、皆さんが、思いの外、真面目に授業を聞いていたので意外な印象が残っています。高校時代は、興味関心が広がり、激しく変化していく時代です。大切なことは、我を忘れて没頭できる何かを見つけ、それに集中することだと思います。勿論、それは勉強でなくて良いし、将来に繋がる何かでなくても良いのです。ただ、夢中になって没頭する、それだけで良いのです。

若い時代はその体験が、将来必ずどこかで生きてきます。非効率的に生きていく、愚直に生きていく、報

われなくても淡々と生きていく…、授業を聞く君たちの表情を見ていて、そんな余裕をふと感じることがあります。そんなとき兵庫高校の伝統を感じて頼もしくなってきます。

そう、人生なんて何とかなる、君たちよりチョッピリ長く生きてきた僕の実感です。



年間の授業をふいかえて

体育〈全組〉T. M.

67回生の今年1年の体育授業を通しての感想は、全体的に積極的に授業を受けていたという印象です。2学期のソフトボールを例にあげると、ある男子生徒の発揮するリーダーシップに感心し、女子では、打席に立った生徒にクラス全員が声を合わせて（かなり大きな声でしたが、楽しそうでよかった）応援する姿が毎試合見られるなど、それぞれの個性やクラスの雰囲気の良いさを表す場面が見られました。もうすぐ入学から1年となりますが、何を感じ、何と向き合ってきた日々だったのでしょうか。今しかできないことは何でしょうか。自分が精一杯取り組めるものを見つけて、新学年をスタートしてほしいと思います。

コツコツ努力を

生物〈7組〉H. N.

1年生の1学期から生物を教えるのは何十年ぶりであった。教育課程が新課程となったためだ。世間(大学の先生や会社の人)で、「物理、化学、生物、地学のうち、3科目以上高校で学習しておかねばならない」との要望があったためだ。しかし、生物学は山中教授のiPS細胞で代表されるように日進月歩の学問であり、遺伝子工学やインフルエンザなどの免疫について新しい知見を高校で教えなければならない。教える内容は非常に増えた。この内容を踏まえつつ、教科書に沿って教えるのに苦労した。また、未来のリーダーとなろうとする意志を持つ生徒たちに私なりの希望も伝えたかった。

君たちは1学期、みんな希望に輝いていたように思う。3学期になると疲れている生徒も見うけられるようになった。後、2年間、毎日コツコツ勉強してください。高校時代の勉強こそが君たちの未来を決めていくのですから。

逆風満帆

国語乙〈1・3・5・7組〉C. I.

私は67回生のみんなと同様、兵庫高校での一年目を終えようとしています。戸惑いながらも周りの先生に助けていただいて、なんとか少し慣れてきました。でも、まだまだだなどと思うとき、みんなの若さを羨ましく思います。みんなは行事や部活で揉まれながら、兵庫高校生になっていきましたよね。

高校の三年間って、人生の中で最も悩み多く、四方に霧がかかっていて手探りで光を求めてもがいている・・・今も昔も変わらずこんな感じじゃないですか。渦中にいるときは苦しくて逃げ出したくなるときもあるけれど、ふんばって、自分の力でとにかく前進し続けていけば、トンネルを出たときには芯の太い人間になっているものです。

一人一人、限りない可能性を秘めている若き人たち、四月からの新しいステージ、自分自身をしっかり見つけて着実に一歩ずつ成長して下さい。



You can do anything!

英I A 〈1・3・5・7組〉、創造 M. M.

67回生の皆さんが、この兵庫高校に入学して、まもなく1年になろうとしています。月日の経つのは本当に早いものですね。年齢を重ねると、この気持ちはますます強くなります。

さて、皆さんは入学時のあの感動、あの緊張感、そして決意を今でも覚えていますか。あの時の新鮮な気持ちは、いつのまにか失われて、中弛みの状態になっていませんか。

皆さんは、自分がやる気になれば何でもできる、兵庫高校という恵まれた環境にいることに感謝しなければなりません。人間には自分を驚かせるような能力があるものです。そして、その能力を発見することが高校生活最大の目的であると私は考えます。

One of the greatest discoveries a man makes, one of his great surprises, is to find he can do what he was afraid he couldn't do. (Henry Ford)

You can do anything if you try very hard.

All you need is confidence!

音読の妙

国語甲〈1・2・4・6組〉A. S.

私の担当した国甲では1人1文リレーで本文を読みました。最初は勢い余って数文読んでしまったり、自分の番と気付かず流れを止めたりしましたが、後半では大分スムーズになりました。緊張のせいでしょうか、とても良い声の人など多くの発見がありました。

最後に1クラスだけの実施になりましたが、短歌六首から一首選んでリレーで読んでもらい、改めて各自の個性が伝わりました。目で読むだけでは気付かない発見をこれからもしていき、言葉を味わって下さい。

楽しい調理実習

家庭〈全組〉K. S.

調理実習は楽しい。準備はしんどいが楽しい。

7クラスの実習が始まる前に、材料・道具の準備とともに、説明の手順を考える。昨年度の記録を見て考えるの

だが、初めの1~2クラス目では、思惑通りにいかないことも多い。「切る」作業にもものすごく時間がかかったり、飾り付けにすごくこだわったり…。

思い出すのは、わかめを切らずに使った班・落とし蓋の上にわかめを載せて煮た班・すし飯を作るとき瓶から飯に酢を注ごうとした班…。他にもきつといういろいろあったと思うが、失敗した子はちょっと恥ずかしい思いをするが、他の子は慰めながら同じ失敗を共有できる。それが授業の良いところだ。

今年度一番ぞっとしたのは、鶏のささみをまな板に乗せたまま、キュウリを切っているのを見たときである。来年度は、食中毒についてもっと時間をかけようと、心に誓った。

今年1年を振り返って…。

現代社会〈2組〉Y. H.

パラリンピック入賞の水泳選手は兵庫区の病院勤務の看護師さん、領土問題、衆議院解散総選挙、震災復興予算問題や被災地の現状、いじめ・体罰問題。その一方で、ヒッグス粒子、iPS細胞の話題など自然科学分野でもトピックの多い1年でした。

そう、これは2組の皆さんが毎回授業の始めにスピーチした新聞のトピックスです。皆さんは、どのニュースが一番印象に残っているでしょうか。

ニュースは暗い深刻なものではありません。課題や問題を抱える社会とは、見方を変えれば、これからの日本を担う兵庫高校生が活躍するチャンスでもあります。鳳雛が成長して、大空へ羽ばたく時を楽しみにしています。

個人メモ：今年のニュース→2組は元気すぎる！

切り替えを大切に

物理〈1~3組〉N. I.

一年間、物理を担当させてもらいました。なかなか内容的には厳しいものもあったとは思いますが、自然科学のもの見方や捉え方が少しでも伝わり、興味をもってくれる人もいたことは救いでした。

授業では1~3組を担当しましたが、一年も後半になると1時間目の授業が終わると、さっそく弁当箱を開ける生徒がいたり、かなり兵庫高校生らしく(笑)なってきましたね。でも、勉強面でもしっかりけじめ

をつけて頑張れるのも本校生のいいところです。

2年生からは文系・理系に分かれ勉強もより難しくなります。どうか、切り替えの大切さを自覚して残りの高校生活を送るよう期待しています。

平素にあり

数学〈7組〉A. N.

いつも感じよく授業に参加してくれました。おかげで愉しく授業をすることができました。君たちはどうでしたか。この一年間、テスト前の限られた時間に問題の多くを解いてきたのではないでしょうね。

日頃から余裕をもって少しずつ問題にあたることで数学の学力向上の秘訣だと思います。平素にゆとりをもってじっくりと考える、これを繰り返し習慣づけることで学力がついてくるのです。

考えてもわからない問題がでてきたとき、解答を見て学習するのもいいですが、そのうちの何題かは自分でじっくりと深く考えて解決していくことをしてみてもどうですか。きっと頭が鍛えられますよ。もちろん、学力も向上します。

兵庫高校での一年が終わりました。四月からの新学年で、脳のレベルアップのためにもじっくり考える愉しさを味わえる学習も心がけてください。

皆さんに期待します

情報〈3・5・6組〉N. K.

1982年、「IBM産業スパイ事件」が起こりました。IBMと日立製作所等の企業間の機密情報使用の紛争でした。この事件により、日本のコンピュータ産業はその世界から遠ざかるようになり、情報産業の進化が進まなくなりました。これを境に、コンピュータ分野を目指す若者が減り、医学科へ進学する若者が増えました。

しかしながら、若者たちのスマートフォン利用者の状況やネットワーク社会の進化を見る時、情報産業分野の発展なくして国の発展は無い、と言えます。現在、国内では富士通が唯一、目に見えて頑張っている企業と言えるのか、スーパーコンピュータ「京」を神戸に置き世界最速を誇っています。将来、情報分野へ進む若者が増えることを願っています。

有限の時間で無限の世界を

数 A 〈1～4組・7組β〉 T. Y.

67 回生の皆さん、学年末試験お疲れ様でした。そして 1 年間お世話になりました。卒業まで見届けられないことは残念ですが、勉強に部活動など残り 2 年の高校生活を持ち前の活力で謳歌してくれることを期待しています。



そんな 67 回生との授業ですが、積極的な皆さんの質問にヒヤッとさせられたことが実は何度かあります。中でも記憶に残っているのが、最初の方で行った「集合の要素」に関する内容です。ある生徒に「先生、本で読んだんですけど、整数と自然数の集合の要素の個数って同じなんですか」と聞かれました。普通に考えれば負の数がある整

数の方が多そうですが、実は要素の個数は同じになります。この点が無限という概念の難しさでもあり楽しさであると思います。興味のある人は、是非大学でも数学を専攻してみてもはどうでしょうか。それでは、また皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。

発信者たちへ

情報 〈1・2・4組〉 C. E.

情報はコンピュータ使用の授業と考えられがちですが、紙での発信がワープロ・パワーポイントでの発表・ホームページでのネットへの発信と、この三つで情報の発信ができる。自分の考えを伝え、どのように表現すれば理解してもらえるのか、パソコンを使用して作成するのは簡単なことではない。

しかし、情報は大学入試に関係が無い科目なので、テンションが上がらないと、ペイントで、バーナードを作成しなければならないのに、違うことで遊んでいる生徒。反対に受験科目でないことで、気楽に何でもできると、ホームページ・プログラムの課題を作成後に、自由に作り面白いと楽しんでいる生徒と、いろいろですが、無から作り出すことに喜びを体感できた人は、これから、勉強に役に立つと思います。

67 回生オーケストラ

音楽 〈全組〉 K. O.

67 回生のみなさん、初めての高校生活は充実していましたか？この 1 年間は私自身もみなさんと一緒に勉強させてもらいました。クラスによっても雰囲気違って、ちょうどオーケストラに例えると
金管・打楽器…1 つ 1 つはあったかい音が出ますが集まると華やかで盛り上げ隊。1 発の音にかける思いが強い!! →1・2 組
木管楽器…繊細なアンサンブルできっちり音楽を組み立てます。弦楽器とも金管楽器とも相性抜群な美しい音色。 →3・4 組
弦楽器…オーケストラには欠かせない楽器。大人数で十人十色!!まとまればとても迫力のある音楽になります。 →5・6・7 組

私の 1 年間授業をしてきた主観です。それぞれの楽器の音色の良さをうまく出して、4 月からも 67 回生のすてきなハーモニーを響かせていってくださいね。



67 回生美術を担当して

美術 〈1・2・5・6・7組〉 F. H.

6 7 回生美術選択の皆さん、1 年間おつかれさまです。今年もたくさん楽しい作品を見せてもらえました。「作品はなるべく好きなように制作してもらおう方が良い」それなりの年月、兵庫高校の美術を担当してきて、つくづくそう思うようになりました。

高校生になると、それぞれに個性や自分のやりたいことがはっきりしてきています。

だから私の授業では、あまり作品の内容自体にはあれこれ注文をつけません。

そのかわり、「それぞれがやりたいこと」を実現するための技術面について、時間を割いて解説してきました。

選択してくれた中には、実はちょっと美術が苦手だという人もいたかもしれませんが、皆さんそれなりに楽しんで作品に取り組んでもらえたのではないかと思います。

「あっ」

現社〈1・3組〉N. T.

高校一年生は、
あっという間におわります
高校二年生は、
遊んでいるうちに過ぎていきます
高校三年生は、
十分に準備ができないまま受験・卒業を迎えます

人間は、後悔するものです
後悔するのが、人間なのです



そんな自分の人生も、
そのまま受け入れることができるぐらいに
自分の思うものにしっかりと打ち込みたいですね

ふいかえり

国語乙〈2・4・6組〉Y. O.

授業は、2・4・6組の国語総合乙を担当しました。
特に4組は水曜日が古文、木曜日が漢文だったので予習・復習が大変だったと思いますが、文法の本とパンダ(新明説漢文)が使いこなせるようになった人は◎です。そうでない人は春休みにしっかりと復習しておきましょう。

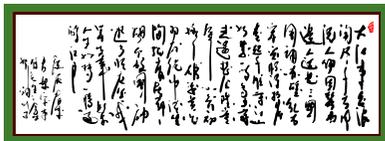
担任していた1年4組はとても仲が良く雰囲気の良いクラスでした。野外活動でのスタンプ練習を一生懸命していた姿が忘れられません。いろいろな行事はもちろん、ホームルームでのみんなが楽しむ姿に元氣をもらいました、ありがとう。

書は人ない!

書道〈3・4・5・6・7組〉Y. F.

先生!というより先輩として皆さんと一緒に私の大〜好きな書道ができて、ホントに幸せ♡でした。今が人生の中で一番楽しくて感謝する毎日です。文字を書く事で自分を表現するおもしろさ・書の奥深さを少しでも感じてほしいと常に考えて工夫してきたつもりですが、皆さんには伝わったでしょうか?

『ハンコを押すときは印泥がいんでえ!』と言って



も見事にスベっちゃったけど(^^;)実用書の練習や名

前の行書は忘れずにいてほしいナァ…。文字は上手下手よりもまず丁寧に心♡をこめて書くコトが一番大切。あなたらしい書風でOK♪「書は人なり!!」

もう書道の授業はないけれど会ったら声かけて下さいネ。2年後、卒業証書の皆さんの名前を一字ずつ心をこめて書くのを楽しみにしています。兵庫高校生として毎日を大切に前向きに全力で過ごして下さい。そして最後はケセラセラ〜♪

楽しかったヨ!

英語A・OCI〈2・4・6・7組〉Y. H.

昨年4月に67回生のみなんと同時に兵庫高校にやってきました、早くも1年が経ちました。色々といじつてくれて、またいじられてくれてどうもありがとう。楽しい1年でした。

さて、まもなく2年生ですね。このまま、楽しい学校生活を続けていきましょう。それから、「……」です。もし、来年度、機会があれば、「……」の部分語りたいですね。では、また。

“善は急げ、

国語甲〈3・5・7組〉M. F.

「読み・書き・話す」という、誰でもできそうなコトがなおざりにされています。掲示物を読まずにモニターの中に“収める”→必要事項を書かずにスマホで“撮す”→言うべきことを話さずに指先で“打つ”。

現代文分野の授業では、知的生活のための基礎力養成を第一に進めてきました。他者が発見したり気づいたりした貴重な事柄は、そのままにしておくとは何か忘れ去られてしまう運命にあります。そこで何らかの意思が働き、一つひとつの単語が組み合わせられた後、書き手の推敲を経て深みと味わいのある文章となります。

優れた記憶力と柔軟な思考力が備わった高校時代に、人生の方向性を決定する際に指針となる自己の精神的志向が形づくられます。この時期に我々の共通の知的資産というべき思想や文学に触れる機会を持つことは大切です。教科書・問題集だけでなく様々な種類の文章に正対し、全体の流れを意識して要点となる箇所を見逃さずに読むことが必要です。

まず、ドットで構成された画面ではなく、多種多様な活字が印刷された字面を眺めることから始めてください。その営みの先に昨日までと違う世界が姿を現し、リアルで精緻な宇宙が待っています。

鬼に金棒

OCI 〈2・4・6組〉 M. M.

『…次いで大講堂に集まって自修（自習）がある。教師のいる昼間の教室では、騒いだり悪戯をして罰をもらったりする彼らが、教師の付き添わない自修時間には私語一つしない。全学生が、何の監督もなく、黙って静かに勉強している。…図体が大きいのに存外子どもだなと思わせることもある彼らが、こんな時にはやはり小さい時からの厳しい躰が無駄ではないことを痛感させる。…この点、日本の学生は、誰かに監督されてガミガミ怒鳴られなければ何もできない…』（池田潔「自由と規律」より。字数制限により一部改変）著者が青春時代に留学していたパブリック・スクールでの一風景である。『彼ら』とは諸君と歳の違わない少年たち。心ある生徒であれば、自分たちの平素の生活態度、学習態度と比べて、その落差の大きさに胸が痛むのでは？この書は『質素剛健・自重自治』を標榜する兵庫高校の生徒全員が読むべきである。67回生もいまや高校生活にすっかり慣れ、『華美』『軽薄』『横着』の悪風に染まる者が増加中。もともと心優しく良い子の多い諸君が、この書で活写されている『自律』と『節度』を我がものにできるならば、まさしく「鬼に金棒」なのだ。

CHANCE FOR YOU

現社、創造基礎 〈5・6・7組〉 Y. O.

学年団として兵庫高校らしくなったという実感があります。様々な行事では先生の手をほとんど借りずに運営ができましたし、皆の協力しようという姿勢を毎回感じ、成長を実感しています。「質素・剛健・自重・自治」の四綱領の精神が少しずつ身につくように思われます。

さて、1年間の兵庫高校生活を終えて、皆さんは今、どのような感想を持っているのでしょうか？勉強、部活動、学校行事など大変忙しい毎日の連続ではなかったでしょうか。

良く頑張ったという実感を持っている人も多いと思いますが、あの時もっと頑張っていたらよかったという想いがある人もいます。まだまだ2年間のチャンスがあります。学校という社会は失敗が許されます。しかし、



それをどう取り戻すかというチャレンジを続けることが大切です。常に前向きに何事にも取り組んで欲しいと思います。皆さんには無限の可能性があり、チャンスが広がっていますから。

いよいよ後輩が入学し、学校行事や部活動において兵庫高校の中心的な役割を果たさなければなりません。今年1年間の皆さんの活躍に期待しています。

気付きと感謝

数学I・数学A（1～7組） M. T.

有名私立中学校の入試で「右図は、99年後に誕生する予定のネコ型ロボット『ドラえもん』です。この『ドラえもん』がすぐれた技術で作られていても、生物として認められることはありません。それはなぜですか。理由を答えなさい」という問題が出されたい。みなさんならどう答えますか？

「ドラえもん」に登場するのび太君は小学生です。決して中学生や高校生にはなれません。なぜでしょう？のび太君のような高校生が居たら、皆さんの同級生だったらどう思いますか？

のび太君は困りごとがあったり、トラブルに巻き込まれるとすぐにドラえもんに泣きつき、ひみつの道具に頼ろうとします。小学生という設定だからそれも許されるのかな？と思います。

自由な校風の兵庫高校で過ごすからには自由を満喫して欲しいと思うのですが、どんな社会でも枠があります。兵庫高校は他の高校に比べてその枠が少し広いだけなのです。枠からはみ出さず、困難に遭遇してもドラえもんに頼ることなく毎日を送ってくれば我々は安心して見守ることが出来ます。残りの2年間を“のびのび”と過ごして下さい。

「意地を張る」ということ

OCI 〈1・3・5・7組〉、創造基礎 T. Y.

「意地」という言葉にはあまりいい意味はありません。でも、あえて皆さんには「意地を張って」欲しいと何度か言ってきたと思います。

例えば、「兵庫高校生なんだから勉強ぐらいできて当然だ」とか、「通学のマナーなんてしょうもないことを教師に言わせてたまるか」とか、「もう2年生なんだから後輩には負けないぞ」というような感じです。皆の前で宣言してもいいですし、そこまではよう言わん、という人は、心の中で宣言するのまあいいでしょう。

もちろん、意地を張ったからには、「言うだけ番長」とか「うそつき」とかにならないよう、がんばらないといけません。むしろ、「自分をがんばらせる」ために、皆さん是非「意地を張って」欲しいと思います。

「人間万事塞翁が馬」

数学Ⅰ、創造基礎〈全組〉T. K.

最近、ほのかに春の香りがしてきたような気がします。やわらかな春の風が運ぶ香りはちょうど去年の今頃も同じだったと思ひさせます。中学を卒業したばかりのあの頃、何を思い、兵庫高校生になることに気持ちを昂らせていたでしょうか。

2年生に進級するこの春は、一年間が満足なら、さらなる研鑽と新たな挑戦への準備を、物足りなかったなら気持ちを切り替え、仕切り直しをするチャンスです。

67回生が自分たちの力で行事や部活動など様々な活動を成功に導いているのを見るにつけ、大いに感心しています。今にしかできない経験をしてください。

「生きるというのは考えることである」とはギリシャの政治家であり哲学者でもあるキケロの言葉ですが、高校時代の今こそ考える時です。是非、普段の学習にとらわれずに、本当に自分が学びたいことに出会い、師を探し、道を進んでください。

それでは新年度から大いに飛躍することを楽しみにしています。

新しい春

体育、保健〈全組〉M. K.

さあ、また新しい春がやってきました。振り返ればあつという間の1年でしたね。皆さん成長しましたか？思った以上に頑張れた人、反対に目標が全くかなえられなかった人、いろいろいるでしょう。頑張れた人、その調子でいきましょう。うまくいかなかった人、大丈夫です。まだまだこれからです。ただし、努力しないで「うまくいかない」といっている人、ムシがよすぎます。やろうとせずに他人から与えてくれる甘い汁を待っていても何も前進しません。失敗があっても努力し続けていれば、必ず夢はかないます。失敗は成功の元。恐れず、がまん強く挑戦していきましょう。



人権学習映画(12/18) 『英国王のスピーチ』感想

*ジョージとライオネルの友情は見事だと思った。ライオネルがジョージと対等な立場でありたいと言ったことが、最終的にこの二人の信頼関係を結んだ原因だったと思います。それによって二人の間の身分の溝がなくなり、お互いが本当に思っていることを言い合えるような仲になったのだと思います。なので、途中で起こったケンカも二人の信頼関係の表れだったと思います。(3組男子)

*最初どもって喋ることができなかった英国王に、ライオネルがいろいろなトレーニングをして、最後の一番大切なスピーチでは堂々と喋ることができ、成長ぶりが伺えました。でも、トレーニングも大事だが、スピーチの成功につながった一番の鍵は、信頼することだと思いました。

英国王が家族以外には固く閉ざしていた心を、ライオネルはほどこいていき、やがて二人は友となりました。信頼できる人がいるということは、困難を乗り越えるための力になるんだと感じました。

(1組女子)



*吃音のある主人公を見て、初めは内向的で自信のない印象を受けました。しかし話が進むにつれ、実は根性があるって芯のしっかりした人なのだとわかり、吃音があるというだけで偏見を持っていたことに気づきました。この映画の予告を見て、最終的には完璧なスピーチをするのかと思っていましたが、その予想が少し外れていたことも衝撃でした。しかし、映画の主人公に対してこんなに心から応援できたのは久しぶりだと思います。(7組女子)

*今回この映画は初めて見ました。それでなのですが、この映画のテーマは「自分に自信を持つこと」だと思います。バーディは幼い頃の周りの影響で言語障害になってしまいましたが、私も共感できる場所があります。勿論私の場合、バーディほどひどくないのですが、前に立って話す時などかなり緊張してしまいます。しかし、この映画を見て「頑張れば誰にでも、無論私にもできるんだ」と思えました。私が自信を持てば何ができるか。明日から頑張ろうと意欲をかき立てられる作品でした。(2組女子)

*この映画の主人公のように障がいのようなものがなくても、人はみんな何かしらのコンプレックスを持っているもので、それを馬鹿にするのはよくないと思った。また、自分の持つ障がいのために気が弱くなってしまうのは、残念なことだと思った。しかし、そんな主人公を優しく支え応援してくれる奥さんが素敵だと感じた。ヨーク公が怒るようなことをしながらも、勇気づけて励ましていたライオネルもよかった。そういう人こそが本当の仲間なのだと思った。(1組女子)

*普段何気なく見ている映画も、視点を変えればこんなにも見方が変わるのだなあと思いました。今まで「人権」に視点を置いたことなどなく、今回初めて、人のやりとりに一人一人の思いがあり、だからあんな行動や言葉が出てくるのだと納得しました。また、自分の考えを上手く言葉にできない人でも、自分の考えがあるということもわかりました。私ができることは、そういう人に自分の考えを共有させるのではなく、友情を深め、お互いに意見を言い合える仲になることだと、気づかされました。(5組女子)

*僕は、王族という立場でありながら吃音という障がいを持っているバーディが、最初とてもかわいそうだと思います。しかし、ライオネルと衝突しながらも障がいを克服しようとするバーディの姿から、とても勇気をもらいました。あくまで僕の個人的な考えですが、バーディの吃音がライオネルに会うまでずっと良くならなかったのは、バーディの父の厳しい教育や兄のからかい、乳母のいじめ等があったのではないかと

思います。障がいがあるのは仕方のないことなのに、それを責めたり、からかったりするの、人権を侵害した行為だと思います。バーディが吃音になったように、人の人権を傷つけるようなことをすれば、相手を一生涯苦しめるかもしれないので、絶対してはいけないと思います。(4組男子)

*要所要所で、主治医のライオネルがオーストラリア人というだけで差別を受けていたのが酷いと思った。その人の本質を見ず、オーストラリア人の平民だからという理由だけで、国王の主治医から外されるのは納得がいかないだろう。でも、ライオネルは他の人に何を言われても臆しなかったのが強いなと思った。国王も初めの頃やけんかした時にライオネルを差別していたが、最終的に和解できたのでよかった。(2組女子)

3/11 球技大会の結果

- ・男子ドッジボール
1位 3組 2位 5組 3位 4組
- ・女子サッカー
1位 2組 2位 4組/7組

3/18 カルタ大会(再)の結果

- 1位 3組 2位 2組 3位 7組

これからの行事予定

3月22日(金) 終業式・大掃除

- 4月 1日(月) 新2年クラス発表9時(生徒昇降口)
- 8日(月) 始業式・着任式・入学式
- 9日(火) 離任式・対面式・課題実力考査[英]
- 10日(水) 課題実力考査[国・数・物/生] LHR
- 11日(木) 歓迎遠足(須磨水族園)
- 16日(火) 歓迎遠足(予備日)
- 18日(木) 身体計測、内科、歯科検診など
- 20日(土) 文化祭りハーサル
- 25日(木) 文化祭準備
- 26日(金) 文化祭(校内祭)
- 27日(土) 文化祭(一般祭)
- 29日(月) 昭和の日

編集後記

4月の0号から数えると年間8回の発行となりました。タイムリーな記事と主な行事のあらましを伝えることを主眼に編集しましたが、後半は遅れ気味になってしまいました。新年度は装いも新たに再スタートする予定です。原稿送付メールアドレスは、以下のとおりです。
E-mail: hyogo67@gmail.com

